

# 教育格差是正における保育・幼児教育の役割

日時：10月25日（火） 15:00～17:00

場所：お茶の水女子大学本館135号室（カンファレンスルーム）

発表者：

小玉 亮子（お茶の水女子大学）

「格差是正における移行期の課題—ヨーロッパの幼児教育から」

浜野 隆（お茶の水女子大学）

「発展途上国における格差是正に向けた乳幼児発達支援」

討論者：

深堀 聡子（国立教育政策研究所）

北村 友人（上智大学）

司会：垂見裕子（お茶の水女子大学）

グローバルCOE国際的格差領域では、教育や子育て、子どもの発達に見られる格差問題を国際的な視野から検討してきました。今回の基礎問題プロジェクトでは、教育格差是正における保育・幼児教育の役割と可能性について海外の事例をもとに検討したいと思います。米国におけるヘッドスタート計画に見られるように、学校での教育格差克服には就学前からの介入が重要であると言われてきました。そのような考え方は現在、世界の子ども政策に取り入れられようとしています。今回の基礎問題プロジェクトでは、ヨーロッパと発展途上国を例にとり、幼児教育・保育が教育格差是正に果たす役割について考えていきたいと思っています。

お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム「格差センシティブな人間発達科学の創成」基礎問題プロジェクト研究会

## 子どもの格差と子ども政策

2回シリーズ

### 養育環境の現代的課題

“子ども・子育て新システム”をめぐって

日時：10月30日（日） 13:00～16:00

場所：お茶の水女子大学本館103号室

発表者：

岡本 利久（元内閣府共生社会政策統括官付参事官補佐／現厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課）

「子ども・子育て新システムについて」

永瀬 伸子（お茶の水女子大学／本学「ジェンダー・格差センシティブな働き方と生活の調和」拠点リーダー）

「親の就労の視点から」

菅原 ますみ（お茶の水女子大学／グローバルCOEプログラム事業推進担当者）

「養育・保育・養護の質と子どもの発達」

平岡 公一（お茶の水女子大学／グローバルCOEプログラム事業推進担当者）

「社会政策・社会福祉政策のなかでの子ども・子育て政策の問題」

共催：お茶の水女子大学「ジェンダー・格差センシティブな働き方と生活の調和」（文科省委託研究）

内閣府の子ども・子育て新システム検討会議基本制度ワーキングチームは、2011年7月27日に制度の全体像について中間的なとりまとめをおこない、政府少子化社会対策会議はこれにもとづいた成案を作成して今年度内に税制改革とともに新システム関連法案を提出することを決定しました。我が国の子どもと子育て家族をめぐる状況は大きな変革期を迎えています。今回の基礎問題プロジェクトでは、子ども・子育て新システムについて理解を深めるとともに、本学グローバルCOEプログラム「格差センシティブな人間発達科学の創成」および文部科学省委託事業「ジェンダー・格差センシティブな働き方と生活の調和」の研究結果から、養育環境の現代的課題とその解決策について考えていきたいと思っています。